

トルコ

フランス軍のSAR 上陸をサポートする。
プレイヤーのキャラクター的に弱いフランスを、ミラノの外交圧力に負けないような国にするべく、ちょっぴり協力したつもり。ま、つもりだけど.....

ヴェネツィア

オーストリアから融資額 2 d との知らせが来る。夏のミラノからの話もあり、それならいいかと承諾する。

1456年春

飢餓 : BARI, SLA, MON, URB, FOR, COMO, TRENT

軍隊配備

オーストリア 生産 : A AUS
フィレンツェ 生産 : A ARE
フランス 生産 : A AVI
ミラノ 生産 : A PAV
ナポリ 生産 : F NAP
教皇領 生産 : A PER
トルコ 生産 : F TUN
ヴェネツィア なし

行動計画

オーストリア : A AUS-CARIN,
A TYR S A AUS-CARIN, A TRENT-VER,
× A CAR-FRI
フィレンツェ : A GEN H, A FLO-PIS,
A ARE H, F LS S A GEN H, F PISA S F LS S,
F PIO S Naples F TS S
フランス : A SWI H, F SAR-GOL, A SALZ B,
A SAV S A SALZ B
ミラノ : A MIL H, A PAV H, A MOD-MAN,
A BER S Austria A TRENT-VER
ナポリ : F NAP-CAP, F MES S F PAL S,
F PAL S F MES S, F TS S F PAL S,

F GON S F MES S

教皇領 : A BOL-FER, A ROME-PAT,
A PER S A ROME-PAT, × F ANC-UA,
F LA S Turks A HER-DAL

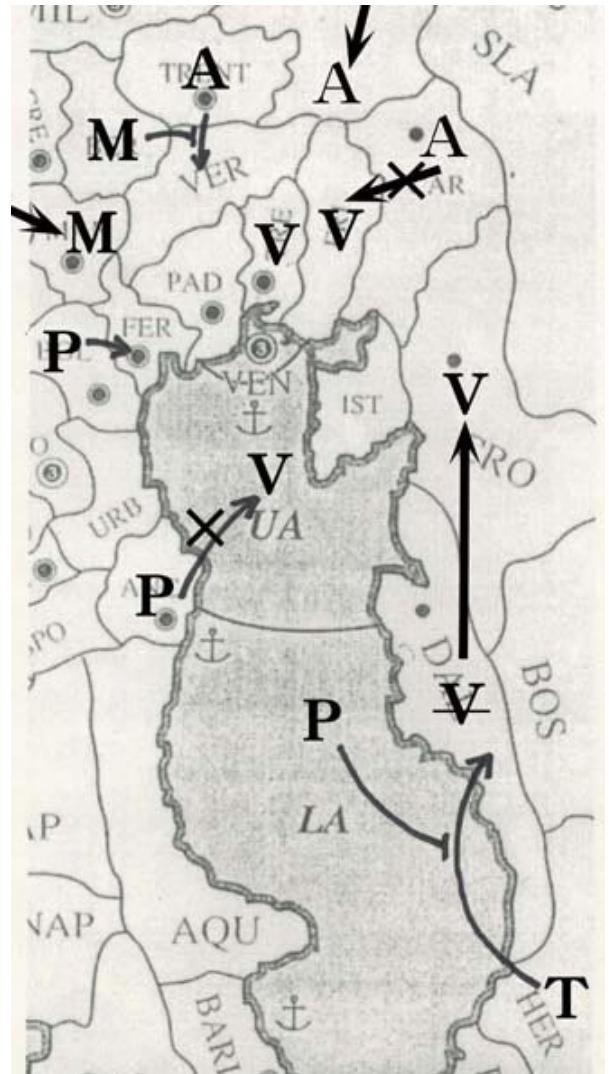
トルコ : A HER-DAL, F ALB H, F WM-SAR,
F TUN-WM, F CM S F IS S, F IS S F CM S

ヴェネツィア : A TRE S F VEN-FRI,
F VEN-FRI, × F UA S F DAL S,
× F DAL S F UA S

退却 : F DAL-CRO

飢餓消滅 : G TRENT

ヴェネツィア包囲殲滅作戦



取消線(ヴェネツィア DAL 陸軍)は退却

策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

突然、教皇領・トルコ・オーストリア・ミラノがヴェネツィアに侵攻する。これは完全な奇襲となりヴェネツィアは苦しい立場に立つことになった。

オーストリア

生産するときにヴェネツィアに金を借りる。いや、もちろん返す気なんかないのだが。んで、AUSに陸軍生産。これで疫病に当たらなければ、今年が勝負だろう。そんな訳で、TRENTからVERへ侵攻。CARからFRIへも進み、ヴェネツィアに宣戦布告。

ミラノがかなり乗り気でサポートしてくれるとのことなので、次のターンはどこかを踏めるだろう。それと、トルコと教皇領も時期を同じくしてヴェネツィアに対抗するようだ。これで、ヴェネツィアを潰しきれよう。

フィレンツェ

GENを取った事で皆の視線が集中する。集中放火を浴びるのは避けたいので、GEN侵攻の後ろには他国の援助が有った事を匂わせる発言をする。当然嘘っぱち(笑)。だが、この結果ミラノへ疑惑がかかったそうなので、やって損では無かったらしい。保身の為に今年一年は軍事行動を起こさない事を宣言。と言いつつも所詮は口先だけ、夏ターンの時点で既にこんな宣言をした事はすっかり忘れていた(笑)

フランス

相変わらず4軍隊のまま。

いま考えるとMARに海軍を作り、PROに移動することによって圧力を増した方が良かったとも思う。この頃の弱気で、慎重な行動が裏目に出たような気がする。

ナポリから文句が来る。1d返したら水に流すというので、返す。ここで断って、

トルコと協同して……とも一瞬考えたが無理なのであきらめる。

ミラノ

このターンは外交上の重要なポイントだった。

オーストリアのTRENT進駐に対してフランスと手を組み攻撃しようかと思う。が、フランスと同盟を組むとフィレンツェを敵に回すことになる。つまりフランス - ミラノ対フィレンツェ - オーストリアという図式になる。が、全然おいしくないし、フランスの動きは鈍そうで勝てそうにないので却下する。

で、どうしようかと悩んでいたらオーストリアからヴェネツィア攻めしようという話しがくる。実は飢餓に当たったTRENTの軍の行き場がなくて向こうも困っているらしい。我が国への攻撃意図はないというのだ。一瞬、我が国をはめようという陰謀かとも思うがオーストリアも我が国と似た理由でフランスとは組まないだろうし、直接侵攻するのはオーストリア軍で我が国は手を汚さずにすむ(=買収をくらいにくい)さらに軍の配置も問題無いというか絶交だったのでヴェネツィア侵攻に同意する。ここで叩かないと独走されそうだ。

と、作戦を決めていたところ奇しくも教皇領とトルコからもヴェネツィア侵攻の提案がある。こうしてあっさり4国によるヴェネツィア侵攻作戦が成立した。

ナポリ

必殺BARIはめ。死んだとおもった。

悩んでもしょうがないので、基本戦略を続行。教皇領には、すがるような目つきで交渉した。一応、もしもの時は、とフィレンツェとも交渉。対トルコは相変わらず、空しい外交。ヴェネツィアが弱まったので、トルコがフリーになっていたが、しょうが

ないのでこのターンも神にお祈りした。

なるとは思っていなかった。

教皇領

交渉

ミラノ、トルコと組んで資金力の恐い対ヴェネツィア戦を開始することを決定する。BARI がら空きのナポリに対しAQUの割譲で合意。

結果

ヴェネツィアには恨みはないけど、フィレンツェがお金を持ちはじめたのでUAを防御ラインとしてほしかった、それだけなんだ。図らずもオーストリアも参戦。ROMEからPATに避暑にでた陸軍が疫病で飛ぶ。2度目だぞ、やってられるかクソ。

トルコ

未だにナポリとは冷戦状態。お互いにそれを確認し合うという不毛な展開。教皇とミラノの誘いにより、ヴェネツィア領のDALを攻め取ることを決意。

HERにいる陸軍をDALに移動させるだけなので、リスクはまったくと言って良いほど無いからだ。教皇領がLAにいる限り、ヴェネツィアはトルコを攻めきれないはず、という目算。

T's A HER-DALは成功し、他国のヴェネツィアに対する軍事行動もおおむね成功する。首謀者はミラノ辺りか.....

ヴェネツィア

ミラノから2dはいる。オーストリアに2d貸す。結局これがヴェネツィア攻めの資金となるのだが.....

生産フェイズでは4軍隊を維持。思えばこれが致命的なミスの一つ。疫病のあたり易さを考えれば、もっと軍隊を作って置くべきだったのだ。

このターンあちらこちらから攻め込まれるが、夏がくるまではそれほど深刻な事に

1456年夏

疫病：A PAT, A TRE, A PIO

行動計画

オーストリア：× A VER-TRE,

× A CARIN-VER, × A CAR-FRI, A TYR H

フィレンツェ：A GEN H, A PIS-FLO,

A ARE S A PIS-FLO, F LS S A GEN H,

F PISA H

フランス：A SWI H, F GOL H, A SALZ B,

A SAV S A SALZ B

ミラノ：A PAV S A MIL S, A MAN S Austria

A CARIN-VER, A MIL S A BER S

ナポリ：F CAP H, F MES S F PAL S,

F PAL S F MES S, F TS S F PAL S,

F GON S F MES S

教皇領：A FER-PAD, APER-ROME, F ANC-UA,

F LA S F ANC-UA

トルコ：× A DAL-CRO,

F ALB S Papacy F LA S, F CM S F IS S,

F IS S F CM S, F WM S F CM S,

F SAR S F CM S

ヴェネツィア：× F FRI-TRE,

× F UA S F CRO-DAL, × F CRO-DAL

退却：F UA-VEN

この夏の疫病は追い打ちを掛けるかのようにヴェネツィア軍にあたる。ヴェネツィアと同調する動きを見せる国はなぜなかった。

オーストリア

VERからTREへと侵攻するが、ミラノの

策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

サポートがまだ直接届かないので踏めず。

だが、うちが本気でヴェネツィアを攻めようとしていることが教皇領、トルコに伝わったようだし、次にはミラノのサポートも入るから間に合いそうだ。

フィレンツェ

PIOの海軍が疫病で吹き飛ばす。が、ROMEからPATに避暑に向かった陸軍も消滅しているのを見て、ナポリと教皇領侵攻を相談し始める。結局、このターンは準備だけして様子見という事にした。このターン、プロットミスでPIOへ海軍を動かさなかったのは少し痛かった。

フランス

SALZが増える。これで地盤堅めは完了。今後は一応ミラノを喰おうとも考えたが、オーストリアはそれどころじゃなさそうなので、暫く待つ事にする。

後でフィレンツェをさそってでもやっときゃ～良かったと後悔する。

ミラノ

特記することは何もなかった。がこのころの状況はかなり我が国にとっておいしかった。だれもミラノに関心をもっておらず、順調に戦力を蓄積できたのだから。

ナポリ

飢餓で教皇領の軍が消滅。奇跡だ、ばんざーい！ さっそく教皇領と交渉。ROME踏まないから、BARI踏まないで、と。了承してくれたので、これはチャンスだと思った。対トルコは相変わらず神頼みだが、教皇領に大ダメージを与える絶好のチャンスと判断。次ターン、ROMEを踏むことを決断する。

教皇領

交渉

ミラノ、トルコとヴェネツィア戦についての交渉。ナポリとROMEの不可侵とAQU割譲の撤回で合意。

結果

PADおよびUAに軍隊を進駐。

トルコ

ヴェネツィア戦線続行。ある程度へこませておかないとね。北進の限界はDALまでと思っていたので、DALの陸軍はヴェネツィア軍の作戦妨害にしかはなから使わないつもりだ。……疫病は派手なヒットをせず、ナポリと寒い認識を再び確認し合う。

ヴェネツィア

疫病で唯一の陸軍が飛ぶ。かなり事態が悪化する。これにより、陸上の領土に関しては防衛はほぼ不可能と判断、アドリア海を確保する事に全力を注ぐ事にする。

この時点での買収も考えたが、次のターンのプロットを見てからでも遅くはないと考え見送る。

1456年秋

破門：ヴェネツィア（全員賛成）

今回のプレイでは「破門はゲーム全体を通じて三回まで、かつ、一年に一度のみ」というハウスルールを採用しています。

行動計画

オーストリア：A VER-TRE, A CAR-FRI, A CARIN-FRI, A CARIN S A CAR-FRI, A TYR H

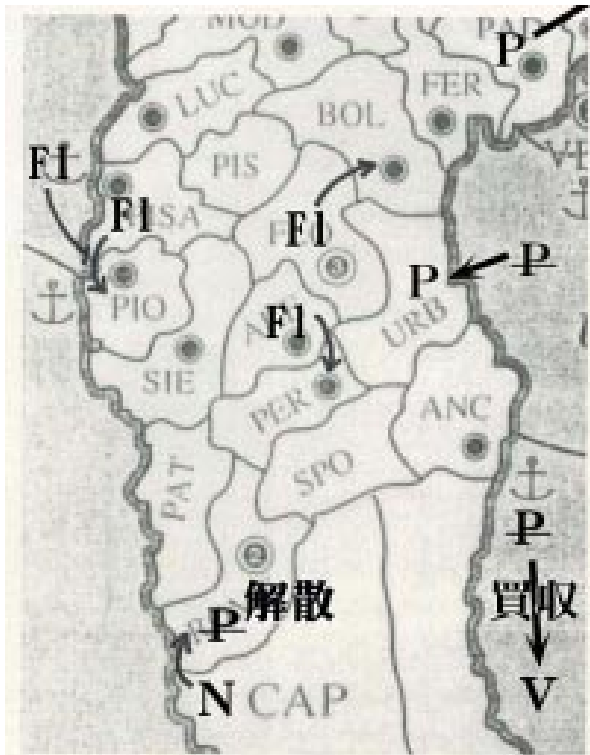
フィレンツェ：(F) 3d FLO, (F) 3d ARE, (F) 3d PISA, A ARE-PER, A FLO-BOL, A GEN H, F LS S F PISA-PIO, F PISA-PIO

フランス : F GOL-COR, × A SWI-TUR,
 × A SALZ-TUR, × A SAV-SALZ
 ミラノ : A PAV-MON, A MIL H, A BER-VER,
 A MAN, H
 ナポリ : (J) 12d ROME, F CAP-ROME,
 F MES S F PAL S, F PAL S F MES S,
 F TS S PAL S, F GON S F MES S
 教皇領 : A PAD S Austria A VER-TRE,
 × F UA-VEN
 トルコ : A DAL H, F LAB H, F CM S F IS S,
 F IS S F CM S, F WM S F CM S,
 F SAR S F CM S
 ヴェネツィア : (K) 24d LA, × F FRI-TRE,
 F VEN S F FRI-TRE, F CRO-UA,
 F LA S F CRO-UA

退却 : F UA-URB

消滅 : F FRI

全ての道はローマに続く



取消線(教皇領 UA 海軍)は退却

ついにヴェネツィアが破門されこれまでかと思われた。が、フィレンツェ・ナポリが教皇領に攻撃を開始し、教皇領は本国領土の大部分を失う結果となった。

オーストリア

交渉前に、教皇領がヴェネツィアを破門。これに賛成し、ヴェネツィアの破門が決定。そのおかげもあって、TREとFRIを踏めた。トルコも北上している。来年、確実に止めを刺す必要がありそうだ。

ただ、やはりヴェネツィアには金の力があるので、ずば抜けてあちらの敵意を受ける必要はない。さりげなく、さりげなく、そして確実に首を絞めねば。

フィレンツェ

教皇領のいきなりのヴェネツィア侵攻に驚きつつもヴェネツィアの破門に賛成。教皇の目がヴェネツィアに向かっているので勝負に出る事に決定。ナポリに、ROMEの軍を解散させて侵攻するのであれば3dまで資金を融資すると話す。こちらは一気に教皇領の都市へ踏み込む事にするが、あまりにも教皇領が背中を開けっ放しなのに不安を覚え、念の為に買収防御をかけておく事にする。おかげでまた借金が増えた。教皇領に対しては、「ヴェネツィアへ侵攻して空いた背後を襲わない分SIEが欲しい」と提案して了承を貰う。当然教皇領侵攻へのカモフラージュに過ぎないのだが。前回プロットミスでPIOへ移動出来なかった事を悔やむ。PIOに軍が居ればSIEにも侵攻出来ていた筈だからだ。

ナポリから「トルコがSARに進出、フランスがCORへ向かう」との情報を貰う。丁度その2ヶ国が会談中だったのでそこに割り込み、フランスがCORを取る事を認める旨を伝える。これは、我国がCORに未練が

策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

無い事を示すと同時に、ナポリと我が国が友好関係にあり、情報が流れて来ている事を匂わせる意味もあった。

フランス

ヴェネツィアが破門を喰らう。

フィレンツェ、トルコの詳細を得てSARをトルコに渡し、CORを得る。

ミラノ

フィレンツェ - ナポリが突然教皇領を攻撃する。おいしい展開である。オーストリアは当分ヴェネツィア攻めにはまっているだろうし、フィレンツェ、ナポリ、教皇領戦もしばらく続くだろう。とすると我が国は戦略的自由を得ることになる。これでフランスを攻めても誰も干渉出来ないだろう。国力はこちらが上回っているし、トルコも味方に付けられるかも知れない。勝機は十分あるだろう。と、いう訳で来年はフランスを攻めようと思う。

ナポリ

教皇領攻めをフィレンツェに打診。ROME軍を解散するために3dの融資をしてももらった。この段階では、ナポリが積極的に動かなければ協力してもいいという回答を得られた。

教皇領

交渉

ヴェネツィアに対して破門。フィレンツェ、ナポリとの友好を確認に強く念を押しす

結果

騙された。破門は裏目に。それ以前に疫病11の出目が許せない。あの陸軍さえあればまだなんとかなったはずなのに。

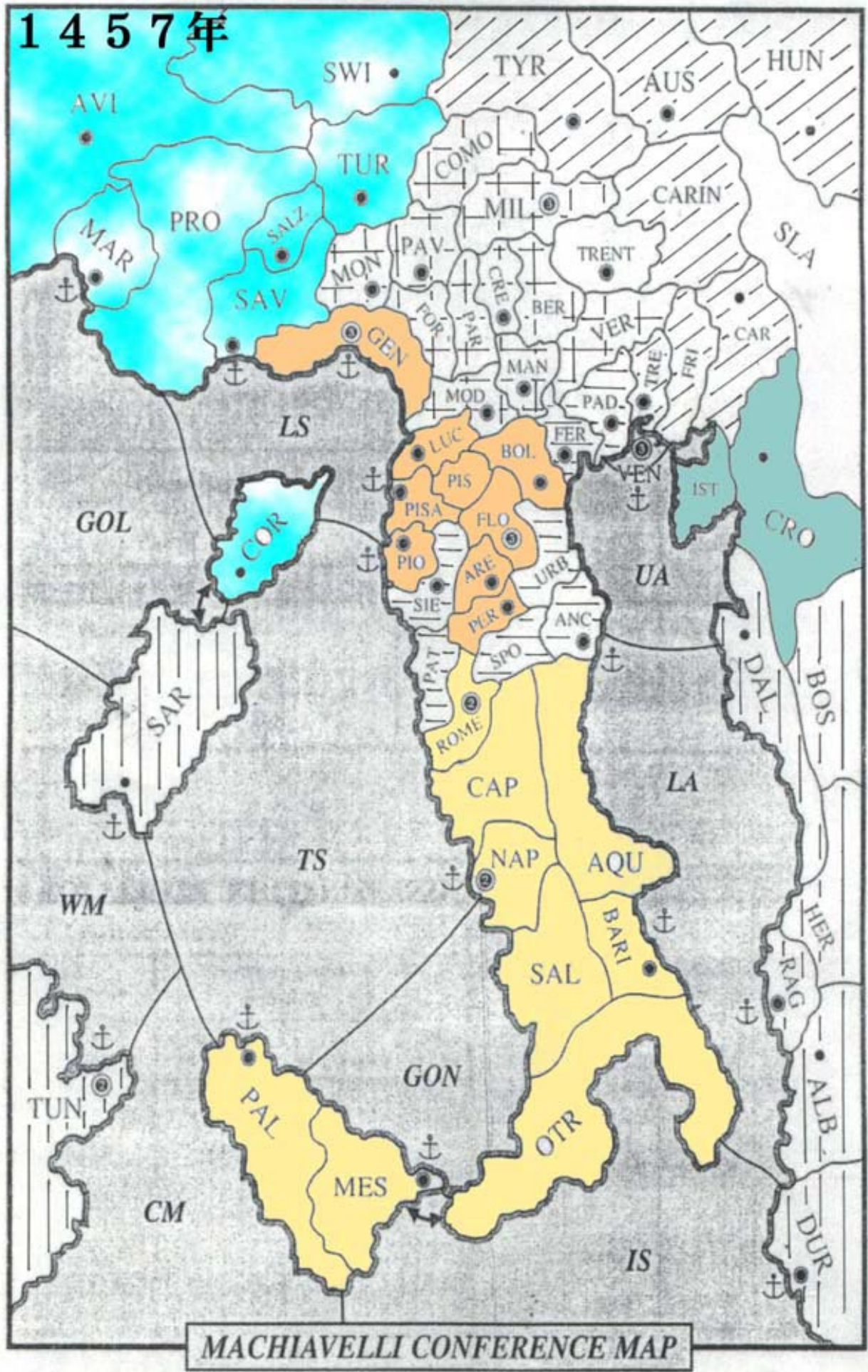
トルコ

教皇のヴェネツィア破門動議に賛成する。経済復活を簡単にしてしまうヴェネツィアを叩くにはこれくらいしておかないと、後が怖い。.....まあトルコに矛先が向かってくることは今の状況からしてちょっと考えられないけれどね。

ヴェネツィア

破門を喰らう。まあやむをえまい、これで心おきなく行動できると自分を慰める。

前ターンで陸上に関してはほぼ放棄する事にしたにも関わらず、未練がましくTREを確保しようとしてあえなく失敗。2戦力を無駄に運用し、1戦力を失う結果になる。反省。思えば、FRIの海軍をUAへ進め、他の2戦力でこれを支援、買収したLAの海軍はANCへ進むべきだったのだ。これが失敗すると話にならないので3Lvで行った。が、回りの反応を見ていると、そこまでしなくても良かったらしい.....。



1457年春

飢餓 なし

軍隊配備

オーストリア 生産：A AUS

フィレンツェ 生産：A ARE

フランス 解散：A SALZ

生産：A AVI

ミラノ 解散：A VER

生産：A PAV, A CRE

ナポリ 生産：F BARI

教皇領 生産：A ANC

トルコ 生産：F DUR

ヴェネツィア なし

行動計画

オーストリア：A TRE S A FRI S,

A FRI S A TRE S, A CARIN S A FRI S,

A AUS S A TYR S, A TYR S A AUS S

フィレンツェ：× A BOL-FLO,

× A ARE-FLO, A PER-SIE, A GEN H,

F LS A GEN H, F PIO S Naples F TS S

フランス：A AVI-TUR, A SWI S A AVI-TUR,

A SAV H, F COR-GOL

ミラノ：A MON H, A PAV-COMO,

A MIL S A CRE-BER, A CRE-BER,

A MAN S A CRE-BER

ナポリ：F TS S F ROME-CAP,

F PAL S F TS S, F MES-OTR,

F GON S F TS S, F BARI-AQU

教皇領：A ANC-SPO, A PAD-FER, F URB-ANC

トルコ：A DAL H, F DUR-LA,

F ALB S F DUR-LA, F IS S F DUR-LA,

F CM S F IS S, F WM S F CM S,

F SAR S F WM S

ヴェネツィア：F VEN S F UA S,

F UA S F LA S, × F LA S F UA S

退却：F LA-HER

このターン、ミラノ・フランスが不穏な行動をとり北部の緊張が高まる。その一方で教皇領・ヴェネツィア付近の戦線は泥沼状態となる。

オーストリア

AUSに陸軍を生産。このターンは動かないことにした。教皇領もトルコもこのターンに領地を増やす可能性がある訳だが、だからといってこちらも同じように領地を増やすのは危険すぎる。AUSの軍が戦線に到着するのを待たねば、買収への対策も出来ないし、ここで動いたところが買収の標的になりそうだからだ。

少しだけ気になっていたフランスのことをミラノと話す。どうもミラノはフランスの優柔不断な部分に危険性を感じているらしいので、一策提案してみる。ミラノがオーストリア方面に進軍し、フランスに同時に攻め込むように軍を動かさせるのである。その後、ミラノが一気にフランスを裏切るといふもの。オーストリアから見るとかなり危険だが、これがうまく運ばば、ミラノはフランスを完全に併合するまでに時間がかかる上に、戦線が延びるので、ヴェネツィアを滅ぼした後にフィレンツェとも手を組みやすい。

フィレンツェ

前回教皇領が動かずにBLO、PERがすんなり取れた為、しっぺ返しを恐れる。いくら領地が少ないとは言え、教皇領の資金力があれば買収は可能な筈だから。教皇領からBOL、PERのどちらかを返して欲しいと訴えられる。とりあえずPERから替わりにSIEへ軍を動かす事を約束する。

そろそろGENの周りに軍が増えたため、